



(開館当時のエントランスホール全景)

二〇年で八〇〇万人！

秋田県立図書館長 小野 靖子

県立図書館にとって今年は、明治三十二年の創立から数えて四代目の建物が、現在地に新館移転(平成五年十一月)してから、ちょうど二〇年、「成人式」を迎えた節目の年でした。十月二十九日には、この二〇年間の入館者が八〇〇万人に達しました。八〇〇万人の入館者となられた秋田市山王の森光典子さんに花束と記念品を贈呈し、ささやかなセレモニーを行いました。

さて、昨年度の数字を拾ってみますと、蔵書冊数は、約八〇万五千冊、年間入館者は約四五万五千人(一日平均「一、三七八人」、貸出冊数は約四二万冊、レファレンス・サービス利用件数(口頭や電話等)でのお問い合わせ等)は約二万五千件、県内の市町村図書館等への貸出は約二万五千冊でした。この二〇年で、蔵書冊数は約二倍、入館者は二・五倍、貸出冊数は五倍に、市町村図書館等への貸出は、実に二・五倍に増えた勘定になります。これもひとえに利用し続けてくださっている県民の皆様、関係機関の皆様の変わらぬ御支援のおかげであると、心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今後、ますます図書館に対する県民の要望は多様になっていくものと思いますが、「情報と交流の拠点」としての役割、すなわち「人と情報」、「人と人」を繋ぐ役割を明確にし、県民のお役に立ち続けたいと考えておりますので、これからも御協力、御支援のほど、よろしくお願いいたします。

秋田県立図書館 新館移転20年のあゆみ

秋田県立図書館は、平成25年11月、開館(山王へ新館移転)20周年を迎えました。今号では、開館から現在までの20年の足跡をたどるとともに、開館当時、県立図書館長を務めた三上 博 氏(秋田市)から、開館当時のエピソードを語っていただきました。

ー特別寄稿ー

県立図書館 開館20周年 に思う

ー図書館建設にまつわる思いー
三 上 博

県立図書館開館20周年と聞き、時の流れの速さに驚くとともに、平成元年から2年間、社会教育課長として新図書館建設に携わり、また、平成5年には館長として移転・開館に携わったことから、当時のことをあれこれと思い出した。

その中に生涯忘れることのできない出来事が一つある。それは、平成2年の11月のことであったと思う。新図書館の基本設計について知事に説明した折、知事から建設費についての質問があり、「県民に喜んでいただくいい図書館を作るためにはこのぐらいかかりそうです」と申し上げると、知事は驚き「当初の予定ではもっと少なかったのではないか!」と叱られ、知事への説明もそこで終わりとなってしまった。次の日、朝一番に県の建築工事を担当する営繕課長と2人で知事室に出向いた。営繕課長が「昨日申し上げた額は私どもの了承している額ではないこと、また資材の値上がり等で当初の予定よりかなり増しになること」などを説明すると、知事は笑いながら、「資材の値上がりもあろうし、できるだけ安く仕上げるように……」とのことで、私たちはほっとし、一安心したのである。

そのようなことがあった後、県立図書館の建設については平成3～4年の継続事業としてほぼ60億円近い予算が計上され、当時としては全国の県立図書館の中で3指に入る規模の図書館建設が行われることとなったのである。

(みかみ ひろし＝元秋田県立図書館長)

おもなできごと

1993	1994	1996	1998	2000	2002	2003	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013						
平成5年	平成6年	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成15年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年						
新館移転オープン(11月2日)	秋田県立図書館蔵書検索ネットワークを開設 「秋田県立図書館」に改称	全国参考事務研究会を秋田市で開催(10月)	秋田県立図書館蔵書検索ネットワークを開設	創立100周年記念式典開催・記念誌発行(2月)	第84回全国図書館大会を秋田市で開催(10月)	ホームページ開設・電子図書館を提供開始(10月) 新館開館からの入館者100万人突破(9月)	秋田県子ども読書支援センター開設(6月)	駐車場を増設(5月)	図書宅配サービスを開始(11月)	あきた文学資料館開館(4月)	土・日・祝日の開館時間を18時まで延長(10月)	新館開館からの入館者数が500万人を突破(6月) 年間340日開館、学校支援、高齢者支援サービス開始(4月)	国際教養大学・秋田大学・秋田県立大学と相互協力に関する連携締結	秋田県立博物館・秋田県立近代美術館と連携事業開始(4月)	旧イトーヨーカドー子ども図書館資料約1万冊及び備品が寄贈される(4月) 放送大学秋田学習センターとの連携事業を開始(9月)	秋田県金融広報委員会との連携事業を開始(10月)	生活支援・健康情報・ニュース・子育て情報の各コーナーを開設(12月) 奈良絵本『御曹子島渡り』一巻が秋田県有形文化財に指定される(3月)	雑誌スポンサー制度の導入開始(4月)	電子書籍 デジタルアーカイブを開設(10月)	新館開館からの入館者数が800万人を突破(10月)	新館移転から20周年(11月)

歴代図書館 history



初代(1899年～1918年)

県公園二ノ丸(現在の千秋公園)に2階建ての洋風建築として設置。明治32年11月1日開館。



2代(1918年～1961年)

秋田市東根小屋町(現在のエリナかいち付近)に総建坪305坪で建築。記念図書館として大正8年6月25日開館。



3代(1961年～1993年)

秋田市中城町(現在の千秋明徳町)に新築移転。延床面積2,775㎡、閲覧室には資料1万5千冊を公開した。昭和36年11月21日開館。



現在の秋田県立図書館外観



全国図書館大会
紹介パンフレット



創立100周年
記念誌



旧秋田東高校跡地に
あきた文学資料館がオープン



スマートフォン、タブレット端末で
電子書籍が閲覧可能に

News

～県立図書館からの最新情報～

新館オープンからの入館者数800万人突破を記念してセレモニーを行いました。



県立図書館は10月29日(火)、平成5年11月に現在地である山王新町へ移転して以降の入館者数が800万人を突破しました。記念セレモニーでは、800万人目の入館者となった森光典子さん(秋田市)に、県立図書館の小野靖子館長及び県公文書館の戸嶋明館長から花束と記念品を贈呈しました。また、小野館長は「皆様の暖かい御支援に心から感謝いたします。今後も、県民の

役に立つ図書館であり続けたいと思います。」とあいさつしました。

県立図書館の入館者数は移転以降、増加の一途をたどっており、特に平成19年以降は、年間入館者数は45万人以上で推移しています。

閲覧室内に「観光情報コーナー」ができました!

県立図書館では、12月の特別整理期間を利用して、閲覧室内に観光情報コーナーを設置しました。場所は2階閲覧室内、旅行ガイドブックの隣です。コーナーには県内及び主要観光地のパンフレットを用意し、観光



や施設案内、地域のイベントなど、市販のガイドブックでは網羅しきれない情報を提供します。

パンフレットは御自由にお持ち帰りいただけます。ガイドブックの貸出と合わせて御利用ください。

←11番の棚、白と青の棚が目印です!

資料保存と修理のポイント(2)

「修理するの? 修理しないの?」

壊れた本を見ると、修理しなければ、と思う図書館職員は多いようです。でもちょっと待って! 修理する前に考えてみましょう。その本は買い替え可能な本ですか? 除籍する予定はありませんか? 貴重資料ではありませんか?

利用頻度が高く人気の本であれば、買い替えや複本の購入という方法もあります。また、内容が古い資料に修理の時間と労力を費やすのは得策ではありません。劣化が進んだ貴重資料は、下手に修理することでさらに壊してしまうことも。そのまま保存容器に入れ、「取扱注意」と表示した方がいいかもしれません。

その図書館の性格や運営方針、予算や人員の制約、そして資料の重要度や利用頻度、劣化状況、さまざまな条件をもとに検討し、「修理する・しない」を判断していきます。あえて直さないことも“あり”なのです。

Event

～イベント・催し物のお知らせ～

■お金と暮らしのセミナー(4回シリーズ)

「今! から始める人生の四大資金」

秋田県金融広報委員会との連携セミナーです。

1回だけの参加もOKです。

【日時】

1月11日(土) 第1回「教育資金」	※各回とも 10:00～11:30
1月25日(土) 第2回「住宅資金」	
2月 8日(土) 第3回「生命保険」	
2月22日(土) 第4回「老後資金」	

【講師】

齋藤 廣勝氏(秋田県金融広報アドバイザー)

【会場ほか】

秋田県立図書館多目的ホール(3階)
定員40名 参加無料

■プロムナードコンサート

「あきたロシア音楽祭」プレイベント

【日時】

2月9日(日) 12:00～

【会場ほか】

秋田県立図書館エントランスホール
入場無料

これからの休館日(平成25年度)…… 12月28日(土)～1月3日(木)、2月3日(月)、3月3日(月)

秋田県立図書館だより Vol.79(2013.12)

発行年月 平成25年12月

編集発行 秋田県立図書館 企画・広報班

住 所 〒010-0952 秋田市山王新町14-31

TEL(018)866-8400

FAX(018)866-6200

りので次に認担っ字くぐまきをら物紐たを県オ今
返図す号し識っなの中るす、読当・解◆振立1号【編集後記】
書。はたしてぐ文でし◆懐み時車い古り図プで
館平三と、い重化、く世か取の、てい返書ンは平
の成月こ思る要を図変のしる世衣み写っ館し平
動二発ろいこな後書容中さこ相服る真てのた成
き五行でをと役世館しがをとやなと資み二現五
年予す新を割へはてめ感が流ど、料ま○在年
振度定◆た再をと文いまじで行か建をし年のに